

HAPPY BIRTHDAY

3歳までのお子様の写真を募集しています

申込期限 誕生日の前月10日
※10日が休日の場合は前日

申込方法 右記QRコードからお申込みください
(先着15人)



画像、PDFでの掲載は行っておりません。

電子ブックをご覧くださいか、広報紙をご覧ください。



感動的なメダル獲得や涙の敗戦など数々のドラマが生まれたパリ2024オリンピック。どの競技どのシーンも、大のスポーツ好きである私の胸を熱くしてくれましたが、今大会で特に心が揺さぶられたのは、男子マラソンで自己ベストを1分29秒も更新し、6位入賞を果たした県出身の赤崎暁選手あさき てるあき。九電工です。

赤崎選手の自己記録は出場選手中55番目。そんな状況をもとめせず、並みいる海外選手を相手に序盤から好走し、一時は先頭に立つなど果敢に攻め、最後まであきらめない粘り強い走りに大興奮しました。

県出身者がマラソンの五輪代表となったのは、1924年パリ五輪で日本人初のマラソン五輪代表となった金栗四三かねぐら しよぞうさん以来100年ぶりです。これまたドラマのような展開。そんな大舞台でプレッシャーを跳ねのけ記憶に残る走りを見せ、ゴール後のインタビューでは「速い選手はたくさんいる。日本記録を出してから僕は強いぞ、と言いたい」と清々しく語った赤崎選手。今後の走りにも注目したいと思います。

さて、平和の祭典といわれるオリンピックの閉幕からほどなくして迎えた今年の終戦記念日。8月15日は、全国各地で平和への祈りが捧げられる日です。「戦争の悲劇を繰り返さない」との思いを新たにす一日です。私も、熊本市で行われた県の戦没者追悼式に参列してまいりました。

世界各地では紛争が絶えず、国際社会の分断は深刻化しています。そんな中で開催されたオリンピックは、平和の祭典としての意義が再確認されるべきイベントであった

元樹だより

市長からのメッセージ

元松 茂樹

速報 全国中学校体育大会で市内の中学生が大活躍！

相撲競技で、鶴城中3年の佐藤珀呂さとう ぼろろさんが個人優勝を果たし中学横綱に。陸上女子200mで、網田中1年の山内愛穂やまうち あいほさんが2位に。詳しくは次号でお伝えします。



たはずです。しかし、オリンピック休戦（※）の期間中にも戦禍が止むことはありませんでした。これは、平和の実現がいかに難しいものであるかを痛感させられる事実です。

戦後79年を迎え、国民の大多数が戦争を知らない世代となった今、戦争の悲劇は記憶から、遠い過去の「歴史」に変わりつつあります。どんなに時が過ぎようとも、私たちの今が、過去の戦争における多くの犠牲の上に成り立っていることを決して忘れてはならない、だからこそ私たちは、戦争の悲惨さを学び、知る努力、そしてそれを伝え続ける努力を絶やしてはいけません。今年の夏、私自身が「平和」について見つめ直す機会となりました。

※オリンピック期間中に戦争や紛争を停止することを求める国際的ルール

香典返し

市社協に次の方々から寄附がありました。厚く御礼申し上げますとともに故人のご冥福をお祈りいたします。(敬称略)

▽古城町	上野正則	亡妻	千津子	(七〇)
▽網引町	木村勝義	亡妻	フミ子	(九一)
▽下網田町	山本聡子	亡母	カネミ	(九六)
▽栗崎町	坂本謙二	亡母	美枝子	(九四)
▽城之浦町	田口久子	亡夫	巧	(九一)
▽長浜町	中村キミエ	亡夫	精次	(九三)
▽一里木町	木村英子	亡夫	博	(八六)
▽走潟町	田代敬信	亡父	有信	(九九)
▽野鶴町	澤田裕一	亡母	文子	(九〇)
▽網津町	宮下カナメ	亡夫	武次	(九五)
▽網津町	高川実玄	亡母	志津	(八九)
▽恵塚町	本道一巳	亡母	ヨシ子	(八七)
▽境目町	中村久美	亡夫	義臣	(七六)

編集後記

▽農業委員会の皆さんが整備されたひまわり畑を撮影のため訪れました。空を見上げるひまわりが畑一面に咲いている景色は、本当に圧巻で、まるで別世界にいるような気持ちになりました。農業委員さんから何本かひまわりをいただき、家の花瓶に挿しました。ふとした瞬間にひまわりが目に入り、そこに

たびに明るい気持ちになりました。家には花があるのは、こんなにも心を豊かにしてくれるのだと実感しました。ひまわりは、「あなたは素晴らしい」や「憧れ」などポジティブな言葉が多く、私の好きな花の一つです。私も、ひまわりのように明るく前向きに過ごしていきたいと思えます。(み)

社協への寄附は、確定申告などで、所得税法と地方税法の「寄附金控除」ができます。
(※8月10日受付分までを掲載)